



夫が苦心したデッキは、リビングであり、小夏の遊び場でもあります。古い窓枠を利用した花台も手作りです。

広々デッキのある暮らし



2003年8月31日、待ちに待ったトレーラーハウスが。普通の家と違って、設置はあっという間。

実家の庭は新鮮市場

夫の両親が野菜を作っているのので、いつも穫れたて野菜を食べています。トウモロコシももうじき収穫かな。



スープの冷めない距離



お義田さんからのおすすめはしよつちゅう。今日は、混ぜご飯とカボチャの煮つけ、ナスの漬物。

4

タイヤ付きのわが家だからこそ見つけた豊かさ いっぱいいっぱい!

茨城県/黒沢美佳さん

トレーラーハウスを自宅に——はたから見ると大英断と思われるかもしれないけれど、私たちににとっては自然な成り行きでした。近くに展示場があつて、そばを通るたびに気にかけていたんですが、ある日、意を決して1人で訪ねてみると、室内(車内?)はカントリー調だし、思いのほか価格が安い! セントラルヒーティング、ユニットバス、オーブンや冷蔵庫……それに、子供部屋には2段ベッドまで備え付けてあつて、至れり尽くせり。すっかり気に入って、それから夫と一緒に何度も足を運びました。

当時、私のおなかには小夏がいて、「そろそろマイホームを」と考えていたんです。夫は長男なので、一戸建てを建てても、将来、状況が変わったときにリフォームしたり、壊したりと大変でしょ? その点、トレーラーハウスは、なにしろ地面に「固定」されていないわけですから、固定資産税がかからないし、下取りもしてくれるんです。

夫の実家の敷地にやって来た、この不思議な家に暮らして2年。今でも、噂を聞きつけた人が見に来ることもあります。確かに目立つとは思ってんですけど、この前なんか、見ず知らずの人が訪ねてきて、「こちらは雑貨屋さんですか?」って。なんだか、人との縁もふえた気がします。

ドアは自分たちで好きな色に塗り替えました。プレートや雑貨を飾って憧れのカントリーハウスに。



いつも思い出の



パツと見は、トレーラーハウスだなんて思えないでしょう? いざとなれば、家ごと引っ越すことだって可能なんです。



思う存分DIY

花台やままごとキッチンといった木工品から、デッキの手洗い場の配管まで、夫は何でもこなします。手作りのものは、愛着がわきますね。